

科目名	電子システム工学専攻実験	英語科目名	Laboratory in Advanced Course
開講年度・学期	平成18年度・前期	対象学科・専攻・学年	電子システム工学専攻・(機械系)・1年
授業形態	実験	必修 or 選択	必修
単位数	2単位	単位種類	学修単位(45時間単位)
担当教員	伊澤・田中・菊地・高島	居室(もしくは所属)	機械工学科
電話	0285-20-2211(伊澤)	E-mail	izawa@oyama-ct.ac.jp
授業の達成目標			
<p>授業の達成目標</p> <p>1. FRPの曲げ試験と強度データの統計的評価法について説明できる。</p> <p>2. 切削加工における切削条件と表面粗さの関係について説明できる。</p> <p>3. 回転翼の製作・計測実験・解析法について説明できる。</p> <p>4. 任意拡散法による熱拡散率の測定法について説明できる。</p>			
各達成目標に対する達成度の具体的な評価方法			
1～4. 課題に対する提出レポートの内容について60%以上の成績で評価する。			
評価方法			
レポートの内容をテーマごと評価した上で、算術平均により評価する。			
授業内容		授業内容に対する予習項目	
FRPの曲げ試験と強度データの統計的評価法 (3週)		テキストを一読し、次回の実験内容を理解しておく。	
切削加工における切削条件と表面粗さの関係に関する実験 (3週)			
回転翼の製作実験 (3週)			
熱伝達に関する実験 (3週)			
レポート整理 (3週)			
キーワード	ワイブル統計、表面粗さ、熱拡散、回転翼		
教科書	自作テキスト		
参考書	機械工学実験 テキスト		
技術者教育プログラムの学習・教育目標			
(B-1) 実験や観察、調査、製作を行って結果や結論が導ける。			
JABEE 基準1の(1)との関係		d(2-b)	
カリキュラム中の位置づけ			
前年度までの関連科目		機械工学実験、メカトロニクス実験	
現学年の関連科目		電子システム工学演習	
次年度以降の関連科目		なし	
連絡事項			
<p>試験は行わない。</p> <p>実験 指導教員の指示にしたがって、手際よく実験を行う。</p> <p>レポート 実験結果をまとめてレポートを作成し、指導教官の口頭試問を受け、理解を深める。</p>			
シラバス作成年月日：平成 年 月 日			